

# 大阪大学図書館報

Vol.32 No.4 March 1999 (平成11年) 通巻132号

## 目次

- 平成11年度の本館のサービスについて
- 平成11年度のデータベース検索システムについて
- 平成10年度附属図書館職員研修会開催
- 教官著作寄贈図書
- お知らせ
  - ・吹田分館の土曜開館サービスの拡大
  - ・西洋古版アジア地図の電子化
  - ・研究開発室の設置
  - ・附属図書館電子図書館システム専門委員会の設置
- 会議・日誌

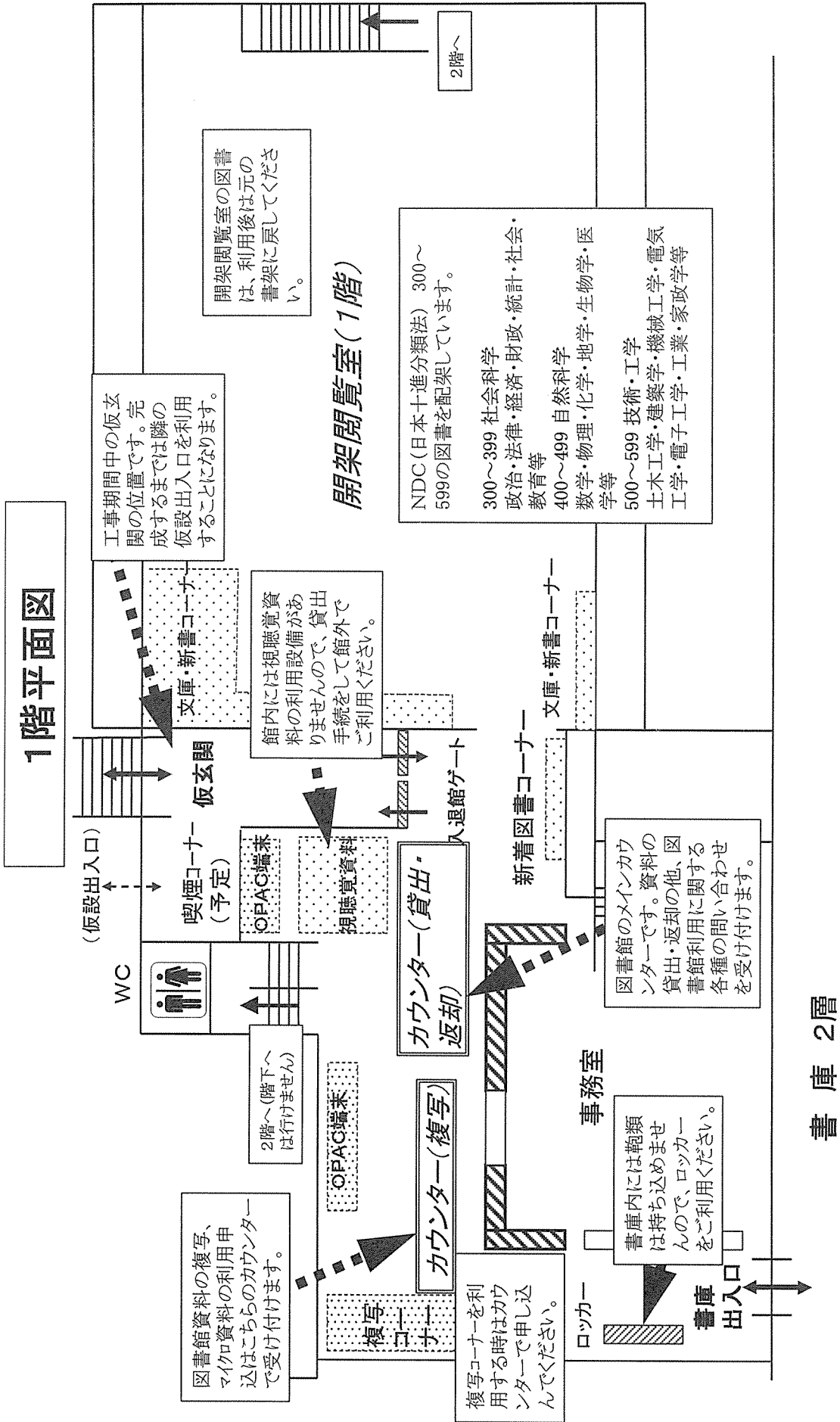
## 平成11年度の本館のサービスについて

3月15日より本館新築の工事が始まりました。図書館報等ですすでにお知らせしておりますように、現有建物の旧館部分（食堂の上の部分）が、工事の範囲に含まれるため、新館のオープンまで一年あまりの間、本館は1階（東側階段を上がり、仮玄関を入ったフロア）、2階のカウンター周辺と開架閲覧室、それに書庫だけのスペースでサービスを行うこととなります。閲覧座席が大幅に減ったほか、下記の施設・設備が使用できなくなっており、利用者の皆さんには当面ご不便をおかけすることとなりますが、ご了解願います。

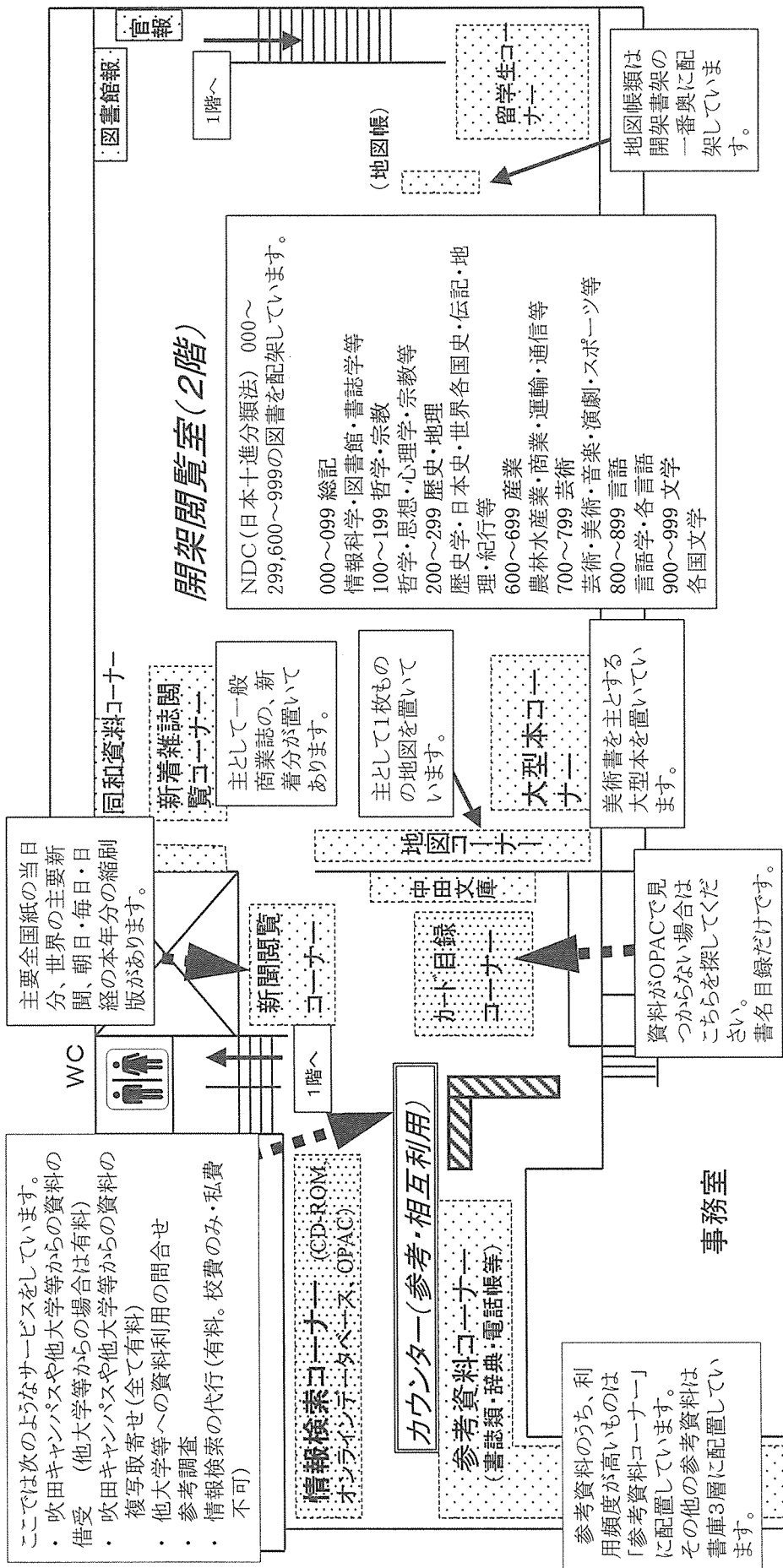
利用できなくなった施設：自習室（2階、3階）、共同研究室（2階）、グループ学習室（1階）、視聴覚室（1階）、書庫内個室の内8室。

外部に移転した設備：情報処理教育センター端末、証明書自動発行機

次のページから、工事期間中の本館の内部とサービスの内容をご紹介します。



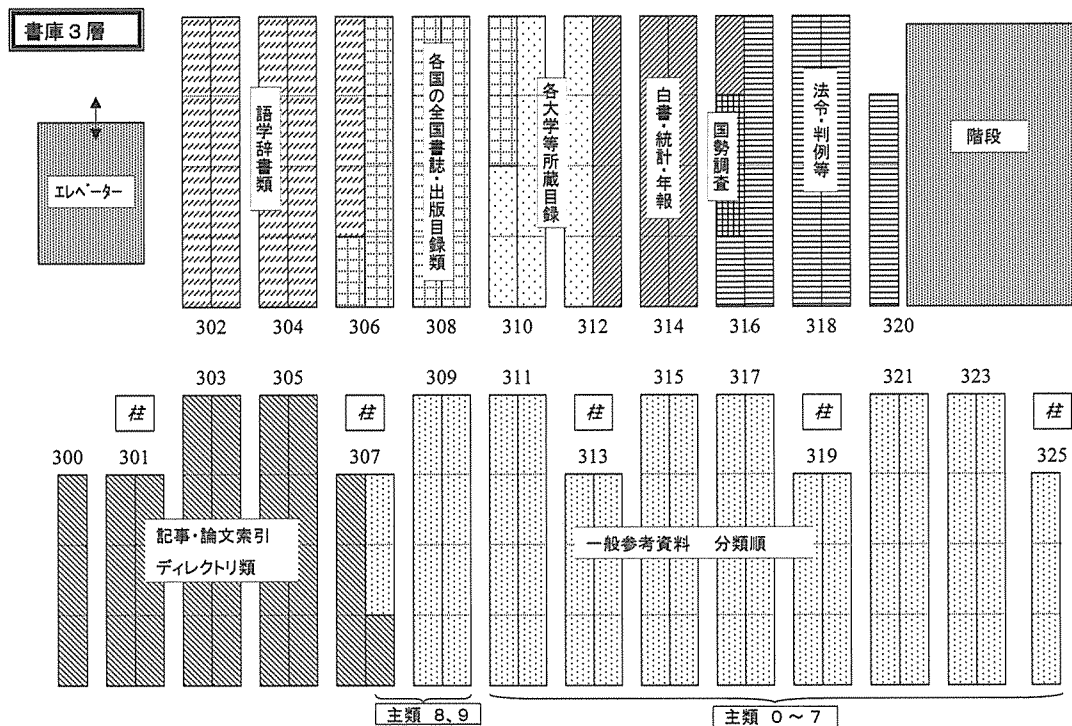
# 2階平面図



書庫 3層 (入り口は1階です)

## 参考図書の配置図

書庫内に移動した参考資料の配置です。



<参考資料の配置について>

- ◎ 利用頻度が高い一部の参考資料は、書庫ではなく、2階参考カウンター近辺の書架に配架してあります。
- ◎ 参考資料は、図書館内でのみご利用になれます。貸出はできません。
- ◎ 利用が終わりましたら、元の書架に戻してください。
- ◎ OPAC表示との関連

現在の資料配置は新館完成までの暫定措置ですので、OPACでの所在表示を次表のように読み替えて頂く必要があります。

OPACでの所在表示	新館完成までの暫定配置場所 (「 」内は書庫3層内の場所)
本館参考1階	2階参考カウンター近辺 / 「各国の全国書誌・出版目録類」 / 「記事・論文索引、ディレクトリ類」
本館参考2階	2階参考カウンター近辺 / 「語学辞書類」 / 「法令・判例等」 / 「一般参考資料 分類順」
本館参考書庫	(利用できません。)
本館参考図書	上記のいずれか
本館白書年鑑	「白書・統計・年報」 / 「国勢調査」

## ◎ 各エリアの補足説明

- ・ 「語学辞書類」は、国語辞典・漢和辞典・各国語の辞典などです。
- ・ 「各国の全国書誌・出版目録類」は、British Libraryの目録や各国の出版物のリストなどです。
- ・ 「各大学等所蔵目録」には、国内の大学等が自ら発行した所蔵目録などを集めてあります。機関名のABC順に並んでいます。
- ・ 「記事・論文索引、ディレクトリ類」には、参考資料のうち、主に記事や論文の索引、人物や団体・機関などのディレクトリなどを収めています。
- ・ 「一般参考資料 分類順」には、各分野の一般的参考資料を収めています。分類順に並んでいますが、先頭に主類の8（語学）、9（文学）を配置していますのでご注意ください。

## 平成11年度のデータベース検索システムについて

図書館から提供しているデータベース検索システムは、平成10年度に利用者負担を導入した結果、多くのご利用をいただきました。平成11年度も基本的には同じ方式を続行することとなりましたので、引き続きご利用いただきますようお願いします。

なお、11年度には一部料金の改訂を行い、同時に新規データベースの追加も計画しております。料金については、2月に配布した「カレントニュースNo.13」及び図書館ホームページの「データベース検索システムの案内」(<http://www.library.osaka-u.ac.jp/others/gakujutu.htm>)をご参照ください。

ここでは、新しく追加される予定のデータベースについて紹介いたします。

## ・ 医学中央雑誌

日本国内の医学・歯学・薬学及び関連分野の文献を網羅した総合抄録誌『医学中央雑誌』のCD-ROM版です。収録誌数は約2,300誌。今回導入するのは1987年～現在までの分で、最新版は毎月更新されます。

## ・ Routledge Encyclopedia of Philosophy

英国Routledge社の国際的な哲学事典、"Routledge Encyclopedia of Philosophy"のCD-ROM版。

## ・ Education : the Complete Encyclopedia on CD-ROM

英国 Pergamon社の "International Encyclopedia of Education"と "Encyclopedia of Higher Education"の内容を統合し、CD-ROM化したもの。

この他、Bibliothèque nationale de France（フランス国立図書館）が1970年までに受け入れた資料約340万点の目録のCD-ROM版である、"Catalogue général des Imprimés de la Bibliothèque nationale de France des origines à 1970"も提供予定です。

また、雑誌記事索引の遡及版1975-1984も購入することになりました。これにより、雑誌記事索引は従来サービスしていた1985年以降と合わせて、1975年から最新版までのデータをオンラインで検索することができるようになりました。

## 平成10年度附属図書館職員研修会開催

本年度の図書館職員研修会が、2月23日（火）に本学の図書館職員と近畿地区国公私立大学図書館職員合わせて67名の参加者を得て、附属図書館生命科学分館のAVホールにおいて開催されました。

研修会は、本学附属図書館の大西直樹情報サービス課参考調査掛長が「カリフォルニア・デジタル・ライブラリー - UCの図書館改革と電子図書館」と題して、また、関西学院大学の中條道雄教授が「デジタルネットワーク社会の展望と課題」と題してそれぞれ講演されました。

参加者たちは、熱心に講演を聞き、講演終了後の質疑応答では多くの質問があり、この研修会は感銘深いものとなりました。

### ■■■■■ 教官著作寄贈図書 (1999/Jan.-March) ■■■■■

本館	
藤田 尚男 (名誉教授)	稀病と仲よく：ある解剖学者の闘病記 / 藤田尚男著 大阪：最新医学社，1997 (生命科学分館にも寄贈)
山崎 晃男 (人間科学部、助手)	『チビクロさんぽ』の出版は是か非か：心理学者・学生による電子討論の記録 / 市川伸一編 京都：北大路書房，1998
法学部	図説判決原本の遺産 / 林屋礼二，石井紫郎，青山善充編 東京：信山社出版，1998
文学部日本史研究室	古代中世の社会と国家 / 大阪大学文学部日本史研究室編 大阪：清文堂出版，1998(大阪大学文学部日本史研究室創立50周年記念論文集；上巻)
文学部日本史研究室	近世近代の地域と権力 / 大阪大学文学部日本史研究室編 大阪：清文堂出版，1998(大阪大学文学部日本史研究室創立50周年記念論文集；下巻)
生命科学分館	
倉智 嘉久 (医学部、教授)	Physiology and pathophysiology of the heart / edited by Nicholas Sperelakis. --3rd ed. Boston : Kluwer Academic Pub., c1995 (Developments in cardiovascular medicine ; v. 151)
前田芳信 (歯学部、教授)	オーバードンチャー製作マニュアル / Harold W. Preiskel著;前田芳信訳 東京：クインテッセンス出版，1998
武田憲昭 (医学部、助教授)	神経耳科学 / 武田憲昭,高橋正紘編 京都：金芳堂，1998
稲本一夫 (医学部、教授)	医用放射線科学講座 / 稲本一夫ほか編 (全14巻) 東京：医歯薬出版，1996-1999
谷口直之 (医学部、教授)	呼吸器疾患の分子生物学 / 谷口直之ほか編 東京：医学書院，1998
医学部第一内科	内科医のための心臓移植ハンドブック / 堀正二,松田ひかる監修 吹田：大阪大学出版会，1999
基礎工学部図書室	
東稔節治 (基礎工学部、教授)	共生システム論：生命体と地球環境との調和 / 東稔節治著 東京：アイピーシー，1999

**■■■■■ お知らせ ■■■■■****・吹田分館の土曜開館サービスの拡大**

平成11年4月より、土曜日の開館時間をこれまで「午後12時から5時」であったのを、「午前10時から午後5時」に延長することになりました。

また、貸出サービス及び吹田分館備え付けのパソコンからのCD-ROM検索サービスも、新たに開始することになりました。

今までよりサービスが充実しましたので、どしどしご利用下さい。

なお、土曜開館は夏季休業等、授業休業期間中も行っていきます。

**・西洋古版アジア地図の電子化**

昨年度の「電子展示で見る懐徳堂」に続き、平成10年度は「西洋古版アジア地図」の電子化を行いました。

対象となる資料は、昭和55年度～56年度に特別図書として受け入れたもので、17世紀から19世紀にかけて西洋で刊行された地図類96点からなるコレクションです。中にはブラウ、サンソン、ボンヌといった地理学史上に名を残す地図作者の地図も含まれています。

今回はその全点を電子化するもので、図書館ホームページからも公開する予定です。

**・研究開発室の設置**

附属図書館が行う教育研究支援活動に関する必要な課題について研究開発を行い、高度な図書館サービスの実現を図るため、附属図書館に研究開発室の設置が認められました。

近年、図書館資料の多様化や電子化の進展に伴い、研究開発すべき課題が多くあり、これらの課題を解決するために、研究開発室を設置し、専門知識を有する教官の協力、指導・助言を得て、より高度な図書館サービスの実現を目指そうとするものです。

**・附属図書館電子図書館システム専門委員会の設置**

電子図書館化への幅広い対応ができるよう、現存の電子情報サービス検討委員会を改組した電子図書館システム専門委員会が4月1日から発足することになりました。従来の委員会が主としてデータベースサービスを取り扱っていたのに対し、新しい委員会では電子図書館のシステム構築全般を討議していくこととなります。

**■■■■■ 会 議 ■■■■■****電子情報サービス検討委員会**

1. 7 (木) 10:00～10:55

1. 平成11年度の電子的情報資料の利用者負担金額について審議の結果、原案どおり承認し、図書館委員会に諮ることになった。

**体系検討小委員会**

1. 12 (火) 10:00～11:05

1. 研究開発室の設置について審議し了承され、引き続き研究開発室規程案について審議し、一部修正のうえ承認され、図書館委員会に諮ることになった。

## 図書館委員会

1. 18 (月) 15:00~16:55

1. 平成11年度の電子的情報資料の利用者負担金額について審議の結果、原案どおり承認された。
2. 研究開発室の設置について審議し了承され、引き続き研究開発室規程案について承認された。

## 生命科学分館運営委員会

2. 15 (月) 10:00~11:30

1. 次期分館長候補を選考の結果、歯学部和田教授が選出された。
2. 平成11年度自然科学系資料収書計画調書について依頼がされた。
3. 個席、グループ室について、緩和した利用条件で引き続き試行することが了承された。
4. 3月31日の夜間開館について、午後6時まで短縮することが了承された。

## 吹田地区運営委員会

2. 19 (金) ~ 3. 1 (月)

持回り審議により、次の事項を審議した。

## 1. 諸規程の一部改正について

土曜日の開館時間について、「12時から17時」を「10時から17時」に延長すること、土曜日も貸出すること等、サービス改善に伴う諸規程の一部改正を審議し、了承された。

## ■■■■■ 日 誌 ■■■■■

H10.12.25	図書館電子化システム特別委員会 近畿地区ワーキンググループ (第2回)	(京都大学)
H11. 1. 7	電子情報サービス検討委員会	(本館)
1.12	図書館体系検討小委員会	(本館)
1.18	図書館委員会	(本館)
1.19~20	ILLシステム地域講習会担当者連絡会議	(学術情報センター)
1.21	平成10年度国立大学附属図書館事務部長会議	(三重大学)
1.22	図書館電子化システム特別委員会 近畿地区ワーキンググループ (第3回)	(京都大学)
1.29	日本医学図書館協会企画調査委員会	(生命科学分館)
2. 4	第2回総合目録小委員会	(学術情報センター)
2.15	生命科学分館運営委員会	(生命科学分館)
2.23	平成10年度大阪大学附属図書館職員研修会	(生命科学分館)
	図書館電子化システム特別委員会 近畿地区ワーキンググループ (第4回)	(京都大学)
2.26	課金委員会	(学術情報センター)